Creative Enzymes®

シノモルガス由来のトランスグルタミナーゼ2、組換え型

Cat. No. NATE-1730

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	トランスグルタミナーゼは、ポリペプチド鎖内または間にアイソペプチド結合を□入することによって、タンパク質の翻訳後修飾を触媒する酵素のファミリーです。これらの酵素は、ペプチド結合したグルタミン残基のγ-カルボキシアミド基とさまざまな一次アミン、特にリジンのε-アミノ基との間のアシル転移反□を触媒します。得られるクロスリンクは非常に重要であり、非常に安定していて、機械的およびプロテオリティックな分解に□しても抵抗性があります。
用途	タンパク質のラベリング、固定化、結合および修飾。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクターXIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミルトランスフェラーゼ; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド:アミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; タンパク質-グルタミン γ-グルタミルトランスフェラーゼ; TG1

製品情報

種	シノモルガス
由来	HEK-293F
外□	白色の凍結乾燥固体。
形態	精製されたトランスグルタミナーゼは、10 mM Tris-HCl pH 7.4、300 mM NaCl、1 mM DTT、1 mM EDTAから凍結乾燥され、マルトデキストリンを含んでいます。
***EC**番号*	EC 2.3.2.13
***CAS**登□番号*	80146-85-6
分子量	78 kDa
純度	> 還元条件下でのSDS-PAGEによる95%
活性	> 1500 U/mg [活性は、Lorand et al.によるN,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光□強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)。]
単位定義	1 Uは、1 a.u./分の蛍光強度の□加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; λex = 332 nm, λem = 500 nm; バンドフィルター = 5 nm; □出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml）。

使用法とパッケージング

包装	250 µg
再構成	凍結乾燥されたタンパク質が凍結乾燥粉末のバイアルに加えられるH2Oの量を少なくとも加えてください。固体が溶解するまでバイアルを優しく回転させます。再構成後、溶液は作業用アリコートで冷凍保存する必要があります。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで作業用アリコットに保存してください。繰り返しの凍結と解凍は推□されません。 常温での配送が可能です。